

# 資料編

---

## 目次

参考資料1	みどりに関する市民アンケート	1
参考資料2	計画の策定経緯	11
	1. 八尾市緑の基本計画審議会委員名簿	11
	2. 八尾市緑の基本計画審議会の開催経緯	12
参考資料3	用語解説	13

## 参考資料1 みどりに関する市民アンケート

### (1) アンケート実施概要

本アンケート調査は、以下の内容で実施しました。

- 実施時期：令和2年1月
- 調査対象：18歳以上の市民3,000人を無作為に抽出
- 調査方法：抽出された市民に対して郵送配付、郵送回答（無記名）
- 回収結果：回収数 1,274人（回収率：42.5%）

番号	設問内容	
問1	お住まい	回答者属性
問2	性別	
問3	年齢	
問4	居住年数	
問5	同居されている家族構成	
問6	みどりの量について	八尾市のみどりについて
問7	八尾市を特徴づける（印象的な）みどり	
問8	普段みどりとふれあう場所	
問9	ここ10年でのみどりの増減	
問10	今後、増やす・守るべきと思うみどり	
問11	みどりの持つ役割への期待	
問12	高安山の持つ役割への期待	
問13	公園の利用頻度	八尾市の公園について
問14	公園の利用目的	
問15	公園を利用しない理由	
問16	公園への不満	
問17	どのような公園があれば良いか	
問18	あまり利用されていない小さな公園について	
問19	みどりに関する活動への参加状況	みどりとの関わりについて
問20	今後参加してみたいみどりに関する活動	
問21	行政支援	
問22	自由記述	

## (2) アンケート実施結果

令和元年度に実施された市民アンケート結果のうち、特徴的な内容について、以下に考察を示します。

### <回答者属性について（問1～5）>

- 回答者の年齢構成は、「10歳代」から「50歳代」までが約半数、残りの「60歳代」「70歳代」「80歳以上」が約半数を占めた。
- 回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が約30%、「子どもと同居（未就学児）」「子供と同居（小学生）」をあわせて約10%、「子どもと同居（中学生以上）」が約25%であった。

### <みどりの量について（問6、問9）>

- 「多い」「やや多い」が約25%、「やや少ない」「少ない」が50%近くを占めている。
- ここ10年で増えたと思うか、という設問では、「増えた」「やや増えた」が約10%程度であり、「やや減った」「減った」が約25%で上回っている。しかし、「変わらない」が38.1%、「わからない」が22.6%と多くを占めており、市民へのみどりの関心があまり高くない状況もうかがえる。

### <特徴的なみどりについて（問7）>

- 「長瀬川・玉串川など水路周辺のみどり」が56.0%、「久宝寺緑地など大規模公園のみどり」が55.2%、「高安山などに残る自然のみどり」が49.1%で上位を占めている。これらのみどりは、市民にとってみ本市の特徴的なみどりとしてとらえられており、重点的な緑地保全および緑化推進に取り組む必要がある。

### <普段みどりとふれあう場所について（問8）>

- 「長瀬川・玉串川など水路周辺のみどり」が46.2%、次いで「近所の身近な公園のみどり」が34.5%、「久宝寺緑地など大規模公園のみどり」が29.2%となっており、水辺のみどりや公園のみどりが市民にとって身近なみどりとなっていることがわかる。

### <今後、増やす・守るべきみどりについて（問10）>

- 「長瀬川・玉串川など水路周辺のみどり」が43.8%、「街路樹や緑道など道路のみどり」が41.3%、「近所の身近な公園のみどり」が40.7%と多くの市民が回答しており、次いで「高安山などに残る自然のみどり」が32.2%と続き、これらの水辺や公園、高安山などの自然のみどりを増やす・守るべきみどりとして捉えられています。

### <みどりのもつ役割として期待するもの（問11）>

- 「潤いややすらぎを感じられる場所」が56.4%、「気温の上昇（ヒートアイランド現象）

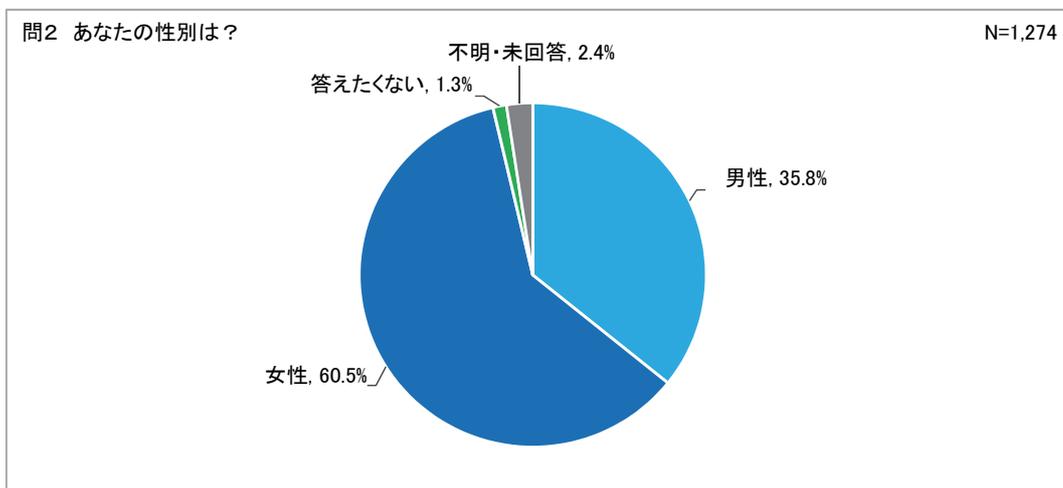
緩和」が 45.4%で上位を占めており、次いで「みどりが豊かなまちなみなど、良好な都市環境の形成」が 35.9%となっており、生活環境としての都市環境の改善効果が期待されていることがわかる。

#### <公園の利用状況について（問13～15）>

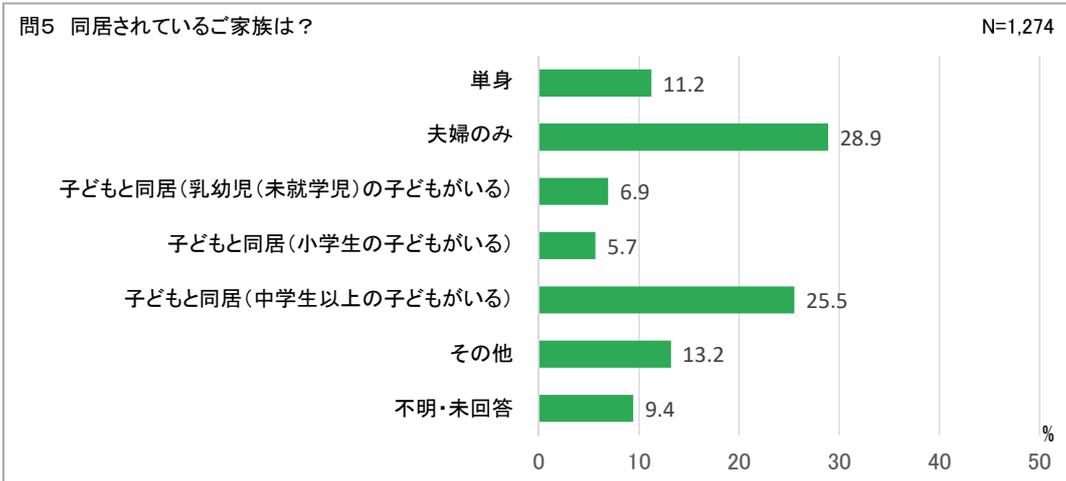
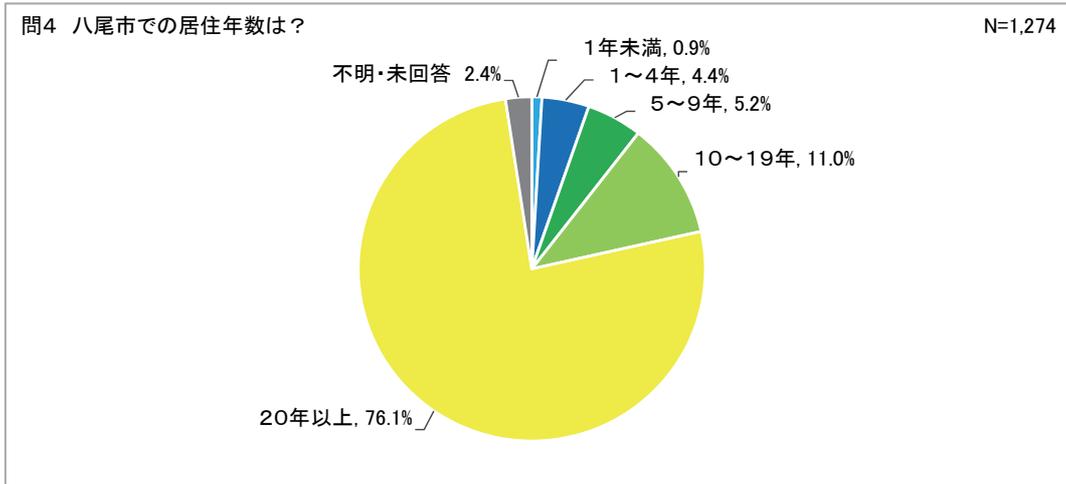
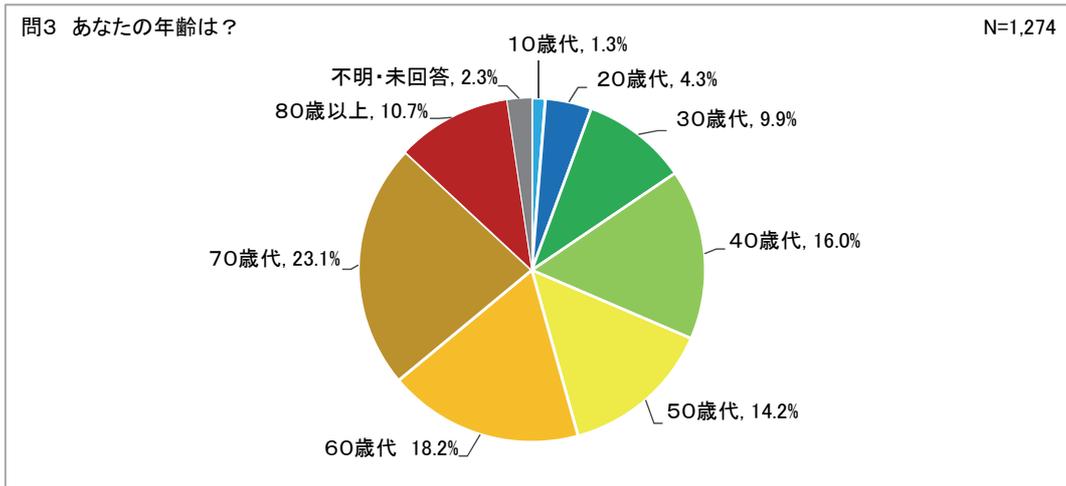
- 「利用しない」が約半数、「年1回以上」が 26.1%で大部分を占めている。
- 年一回以上利用すると答えた人の利用状況については、「子供や孫との遊び場」が 45.2%、「散歩やウォーキング、ジョギング」が 50.6%でそれぞれ約半数を占めている。
- 一方で、公園を利用しないと答えた人の理由については、「公園に行く目的がない」が 67.9%を占めており、これらの人々を対象に普及啓発をしていくことや、これ以外の「魅力的な公園がない」「小さい公園しかない」「公園に行く時間がない」「近くに公園がない」など、公園に行きたくても様々な問題があり行けない・行かない市民が公園に行きたくするような工夫が必要と考えられる。

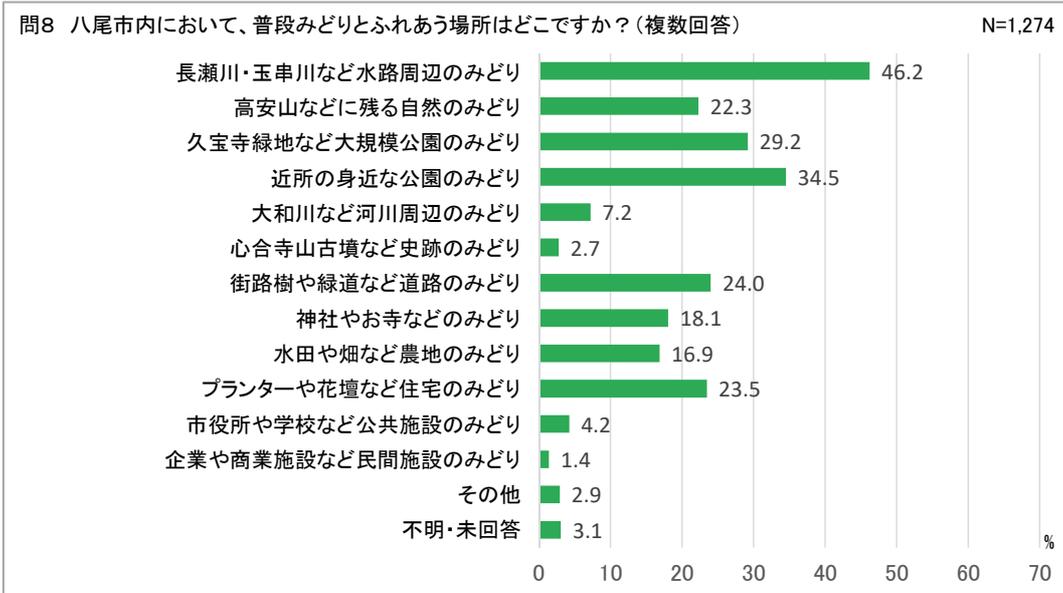
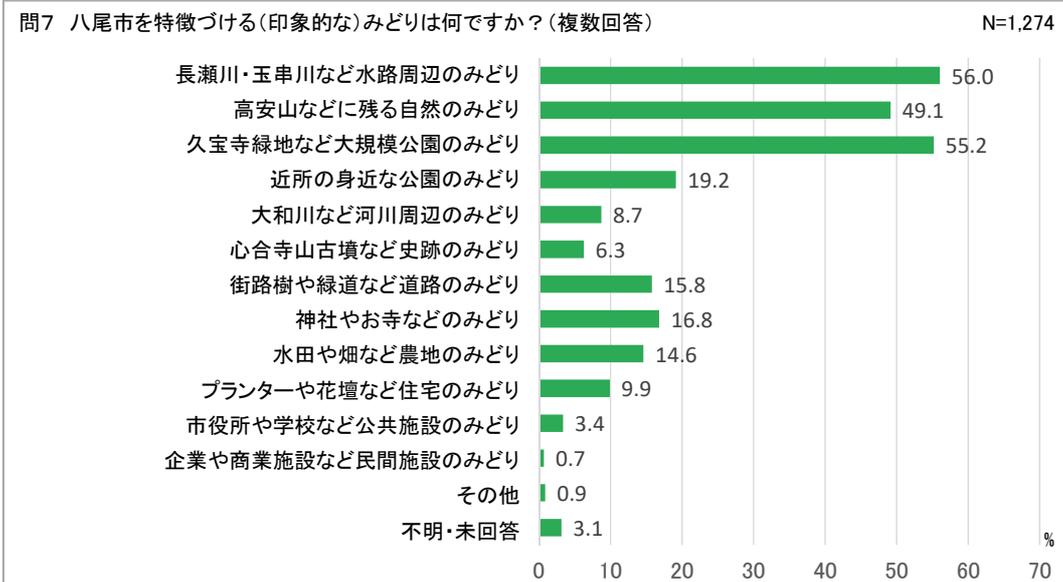
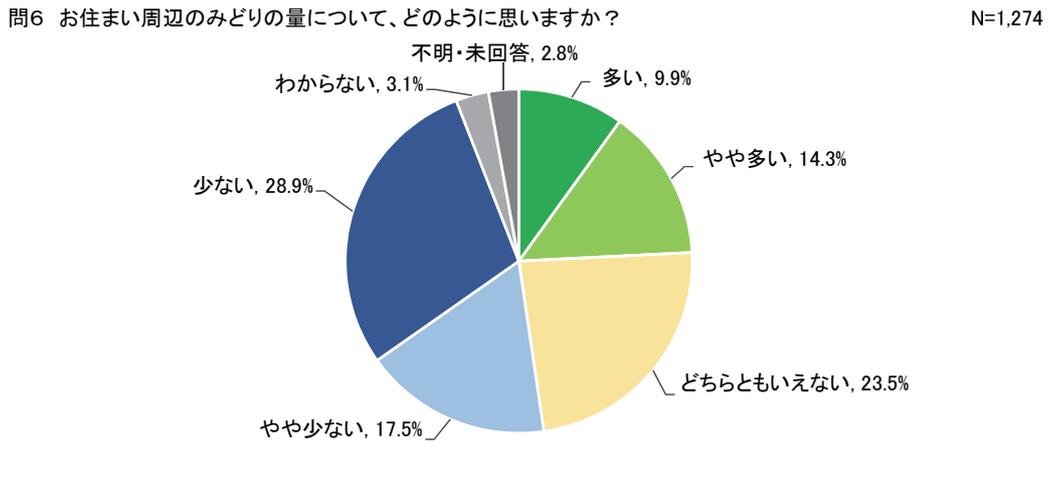
#### <あまり利用されていない小さな公園について（問18）>

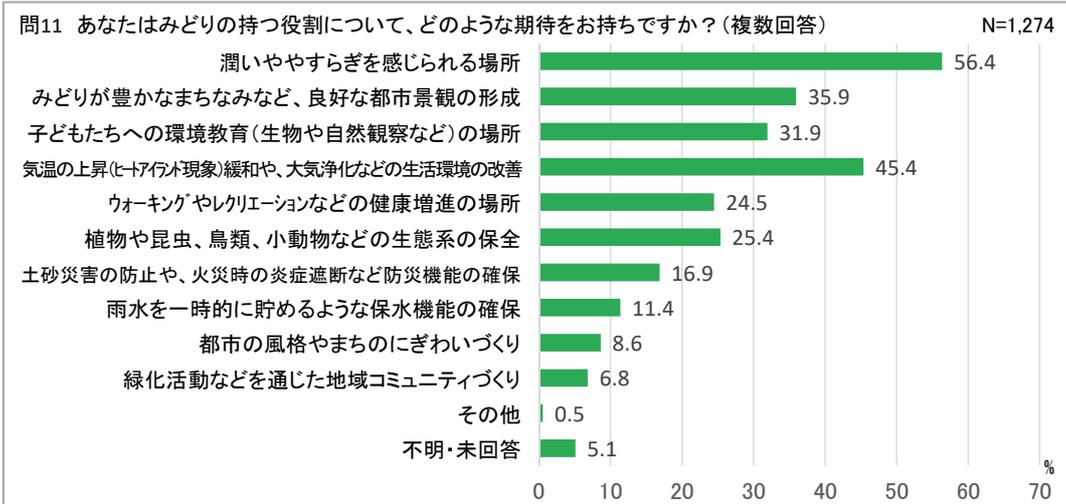
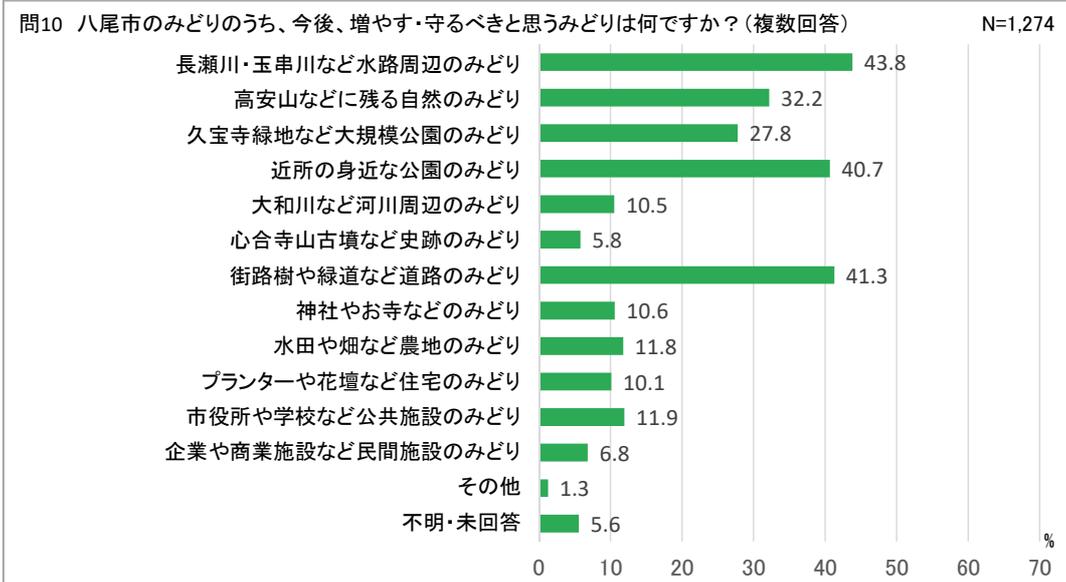
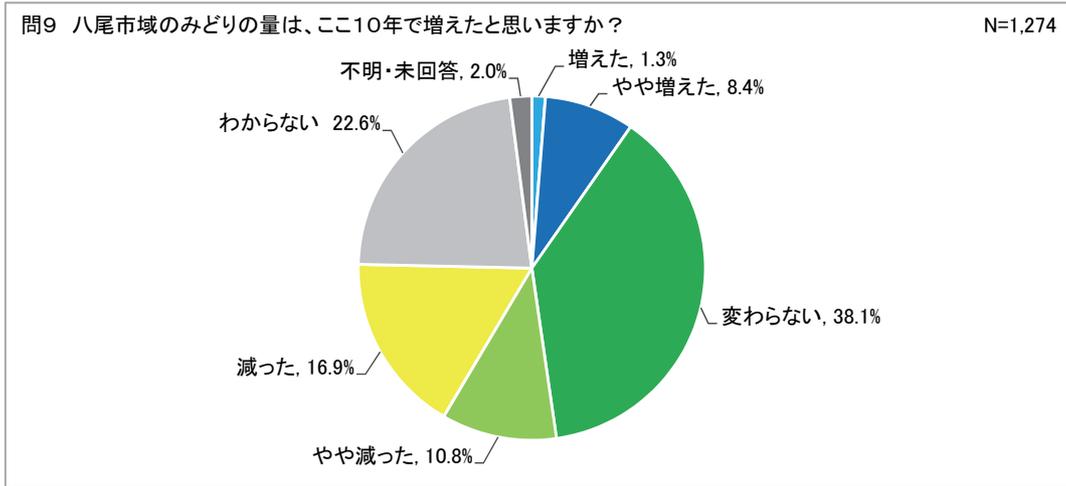
- 「このまま公園として存続させる」が 23.5%であったのに対して、「地域の交流広場として活用する」など、公園以外として何らかの有効活用を図るのが望ましいと回答した市民が約 7 割を占めており、公園の現状や地域特性に応じた公園の有効活用が望まれている。

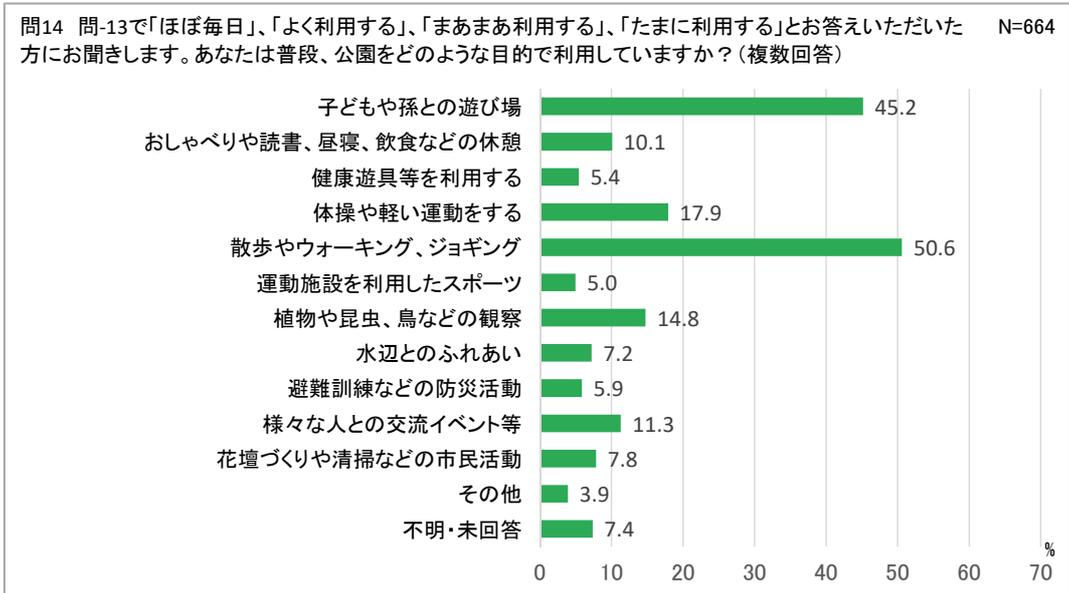
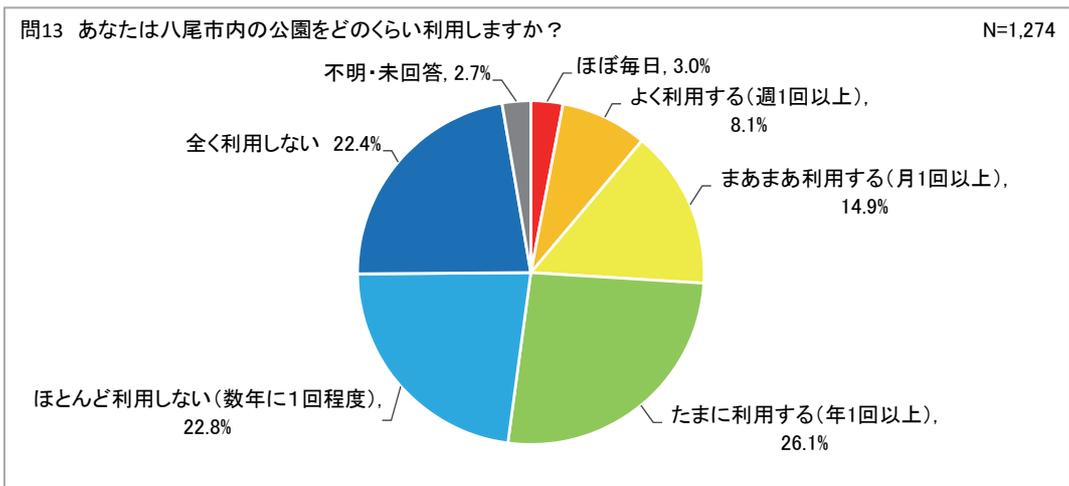
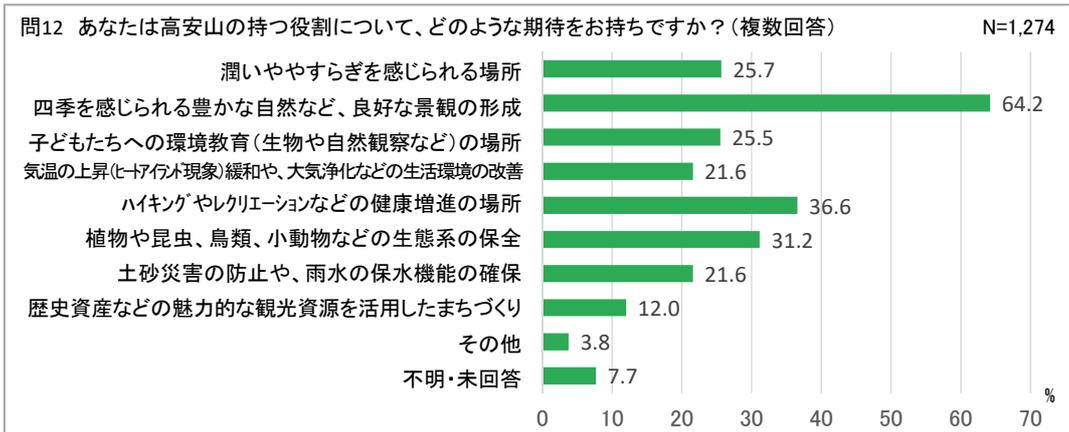


※グラフ中の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%になるとは限りません（以下、同様）。

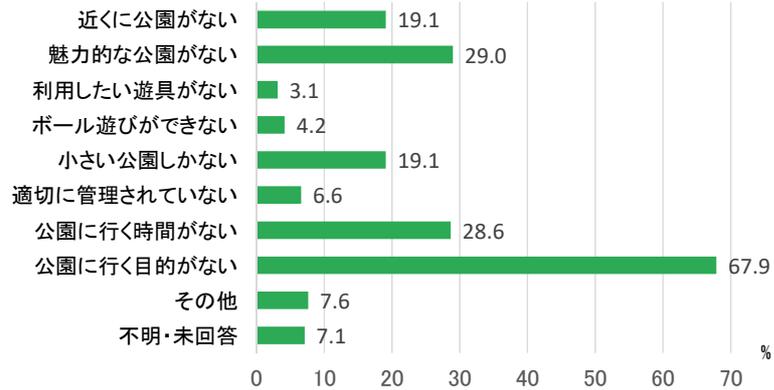




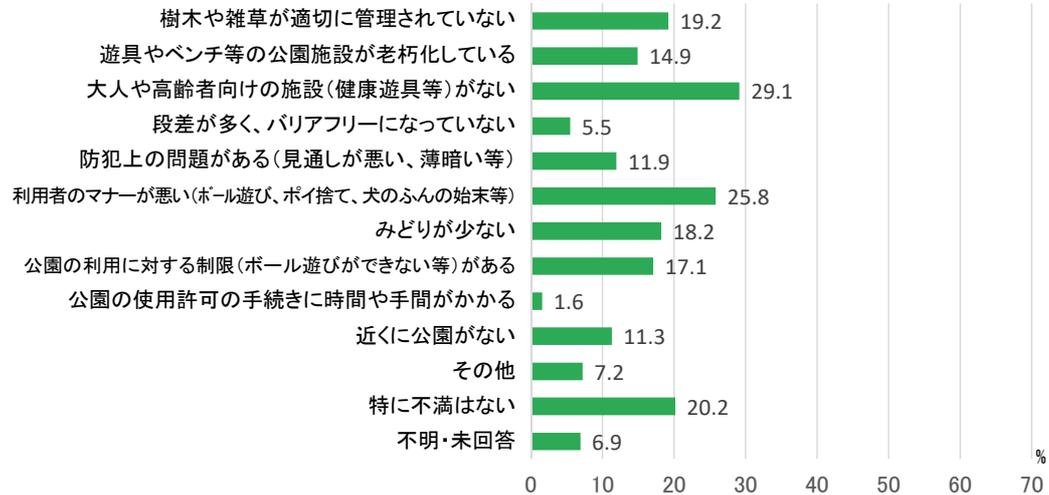




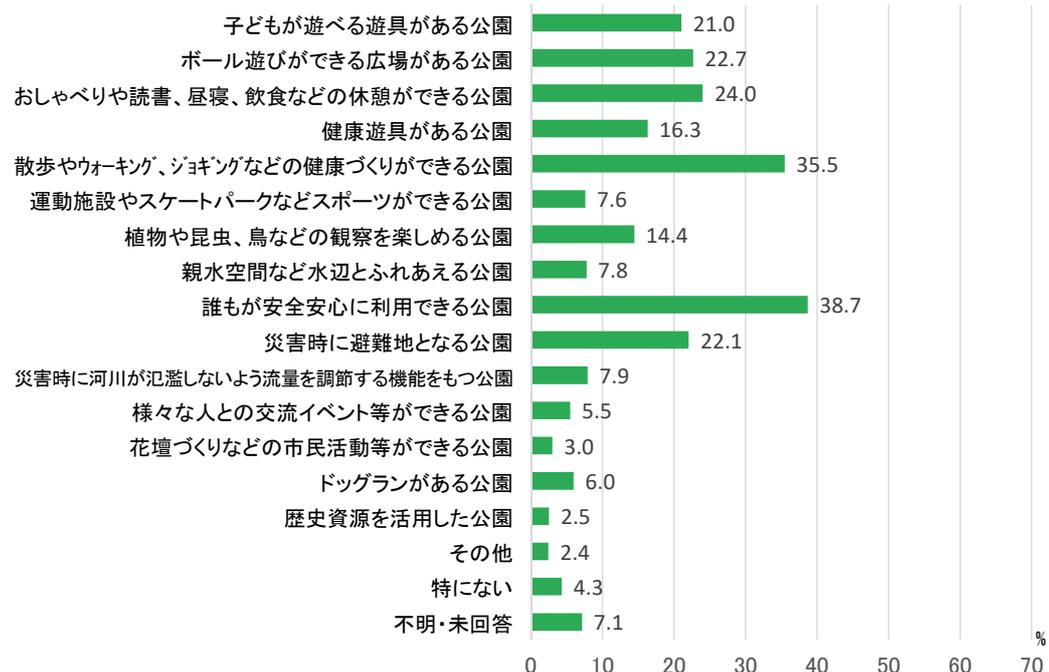
問15 問-13で「ほとんど利用しない」、「全く使用しない」とお答えいただいた方にお聞きます。八尾市の公園をあまり利用しないのはなぜですか？(複数回答) N=576

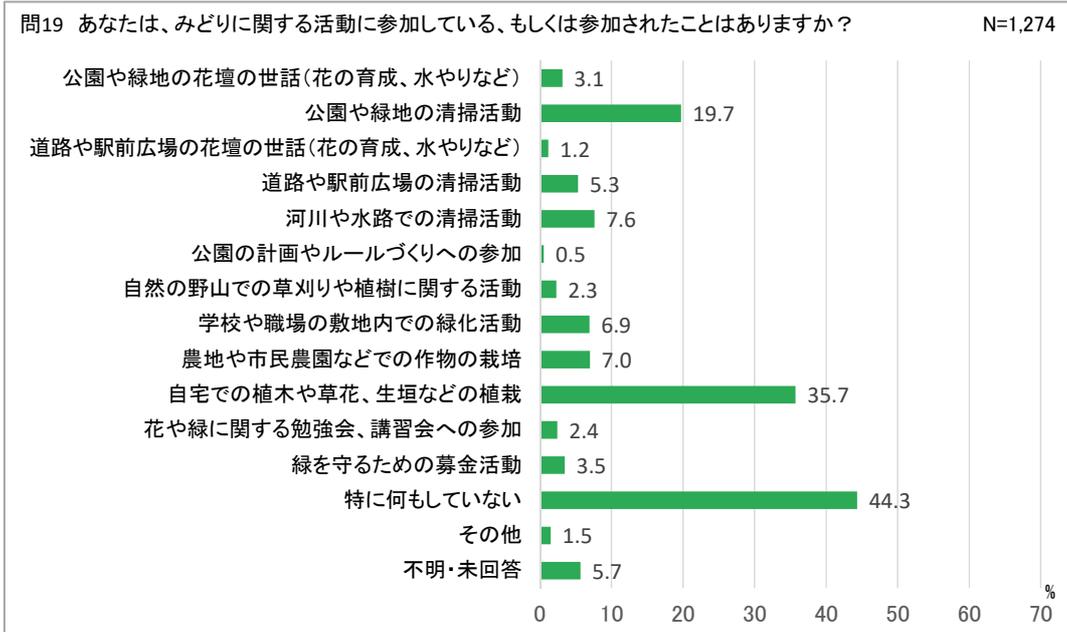
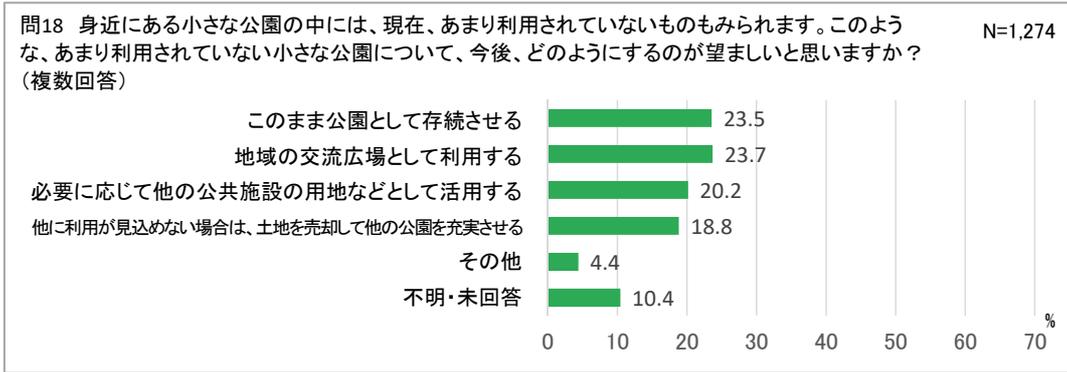


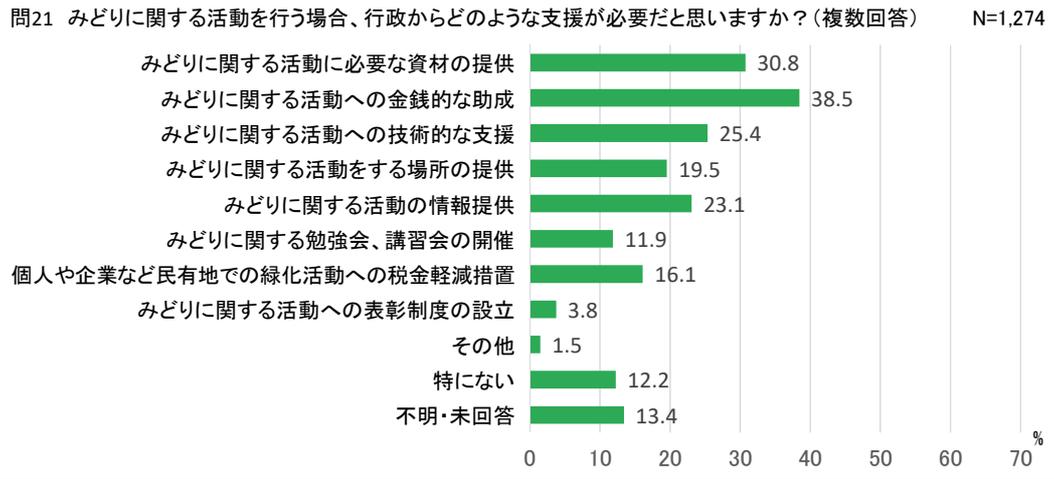
問16 問-13の回答にかかわらず、すべての方にお聞きます。お住まい周辺の公園について不満に思うことはありますか？(複数回答) N=1,274



問17 今後、お住まいの周辺にどのような公園があれば良いと思いますか？(複数回答) N=1,274







## 参考資料2 計画の策定経緯

### 1. 八尾市緑の基本計画審議会委員名簿

委員構成	氏名	役職	備考
学識経験者	加我 宏之	大阪府立大学教授	会長
	岡田 昌彰	近畿大学教授	副会長
関係団体	山本 俊史	大阪シティ信用金庫 企業支援部	
	美濃原 弥恵	アクアフレンズ 代表世話人	
	梅原 和昭	山本仲町会 会長	
	玉置 澄子	八尾市緑化園芸教室 講師	
行政関係	岡田 匡史	八尾市立西山本小学校 校長	
	中舩 健也	八尾土木事務所 都市みどり課長	
公募市民	葉井 正和	市民公募	

## 2. 八尾市緑の基本計画審議会の開催経緯

開催日	審議会	案 件
令和2年7月15日(水) 10:00~	第1回 審議会	(1)審議会の運営 (2)会長・副会長の選出 (3)緑の基本計画改定のスケジュールについて (4)緑の基本計画改定にあたって (5)緑の基本計画改定に向けた課題の整理
令和2年10月1日(木) 10:00~	第2回 審議会	(1)緑の基本計画改定スケジュールについて (2)第1回審議会の振り返り (3)基本方針、施策方針、緑化重点地区について
令和2年12月17日(木) 9:30~	第3回 審議会	(1)みどりの基本計画改定のスケジュールについて (2)みどりの基本計画素案について

## 参考資料3 用語解説

あ行

### アドプト

市民団体等と行政が協働で進める「まち美化活動」で、市内の道路、河川、公園等の一定区間を「子ども」に見立て市民団体等が環境美化活動を行い、市がこれを支援しながら、お互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップの下で進めるもの。

### アメニティ

やすらぎやうるおいをもたらす快適な環境のこと。生活の場に求められる快適性。

### 一時避難場所

災害時の一時的な避難場所。本市では、学校や街区公園、近隣公園等の都市公園を一時避難場所として指定している。

### SDGs

”Sustainable Development Goals”の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

### NPO

“Non-profit Organization”の略で、民間非営利組織と訳される。政府や私企業と並び、独立した存在として、民間公益活動を行う組織・団体。

### オープンスペース

公園、広場、河川、池、山林、農地など建物によって覆われていない土地の総称。

か行

### 花き

花の咲く草。草花。

### 協働

市民・企業・行政が公共サービスの目的と成果を共有し、適切な役割分担に基づき新たな協力関係を構築して取り組むこと。

### 近郊緑地保全区域

無秩序な市街化の防止や、住民の健全な心身の保持・増進、公害や災害の防止、文化財や緑地や観光資源等の保全などを目的として指定された区域。

### グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取り組み。

### 広域避難場所

大規模な地震等の発生時に周辺地区からの避難者を収容し、地震に伴い発生する市街地大火から避難者の生命、身体を保護するために必要な規模及び構造を有するとともに、防災倉庫や仮医療救護所の設置により援護、情報活動等の拠点となる場所。

### 交通結節点

異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設のこと。

## さ行

### 里山

人里近くにあって、人々の生活と結びついた山や森林のこと。

### 市街化区域

都市計画法に定める都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域、及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

### 市街化調整区域

都市計画法に定める、都市計画区域のうち市街化を抑制すべき区域。

### 自然公園

すぐれた自然の風景地を保護するとともに、自然に親しむ場としてその利用の増進を図ることを目的に、自然公園法や都道府県条例で指定された地域。

### 市民農園

都市住民のレクリエーションや自家用野菜などの栽培を目的として、農地を一定区画に区分し、一定期間貸し付ける緑地。

### 市民緑地認定制度

民有地を、地域住民の利用に供する緑地として設置・管理する者が、設置管理計画を作成し、市区町村長の認定を受けて、一定期間当該緑地を設置・管理・活用する制度。

### 住区基幹公園

住民の安全で快適かつ健康的な生活環境及びレクリエーション、休養のためのスペースを確保し、住民の日常的で身近な利用に供するために設けられる公園。

### 水源涵養

森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能。

### ストック効果

整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果。

### 生産緑地

生産緑地法に基づき、農林業と調和した良好な都市の形成を図ることを目的として、緑地の機能及び多目的保留地の機能を有する市街化区域内の農地を保全するため、都市計画に定める緑地。

### 世界かんがい施設遺産

国際かんがい排水委員会(ICID)により、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資することを目的として、建設から 100 年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したものの、卓越した技術により建設されたもの等、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録・表彰するために創設された制度。

### 生物多様性

生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。生物の生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きており、生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という 3 つのレベルで多様性があるとされている。

た行

### 大規模公園

主として一の市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園等の総称。八尾市では府営久宝寺緑地が該当する。

### 地域森林計画対象民有林

森林法に基づき、都道府県知事が森林関連施策の方向及び地域的な特性に応じた森林整備及び保全の目標等を定めた地域森林計画の対象となる民有林。

### 地区計画制度

都市計画に基づき、公園配置、建築物に関する制限等を細かく定めることにより、地区の特性に応じ、良好な市街地を形成・保全する制度。

### 中間支援組織

市民、NPO、企業、行政等の間にたって様々な活動を支援し、NPO等への情報提供や相談などの支援や資源の仲介、政策提言等を行う組織。

### 中環の森

みどり景観の向上・地域のコミュニティの場の創出のため、大阪中央環状線の未利用地を活用し、府民と協働して緑化活動を行っている場所。

### 特定生産緑地

生産緑地の所有者等の同意をもって指定することで、従来の生産緑地に措置されてきた税制優遇を引き続き受けられることができる制度。

### 都市拠点

地域の中心となる都市のこと。八尾市では、近鉄八尾駅、JR八尾駅、近鉄河内山本駅、JR久宝寺駅、大阪メトロ八尾南駅周辺を「都市拠点」と位置付けている。

### 都市計画区域

市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要のある区域。

### 都市公園

都市公園法に定義されるもので、都市計画区域内において地方公共団体が設置する公園や緑地。

### 都市農地

市街化区域内及びその周辺に存在する農地。

な行

### 軟弱野菜

収穫してしまうと水分がなくなり、他の野菜とくらべて早くしおれてしまう野菜の総称。

### ネーミングライツ

公園や体育館などの公共施設や付帯設備等に、企業の社名やブランド名を名称として付与する事業。

### 農業振興地域

自然的・経済的・社会的諸条件を考慮して総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し必要な施策を計画的に推進するための措置を講ずる地域。

### 農地バンク制度

市内に遊休農地を所有し、その提供を希望する人（貸し手）と、その利用を希望する人（借り手）に関する情報を登録し、貸し手・借り手の間で農地の安全な貸し借りを仲介するシステム。

### 農用地区域

優良農地を確保するために農用地として利用すべき区域。農地の保全と有効利用を図るため、農地転用の制限、開発行為の制限等の措置がとられる。

### は行

#### P-PFI

都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き。事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。

### ヒートアイランド

都市部は、郊外に比べて気温が高いため、等温線が島状になる現象。都市の多くが人工的構造物に覆われて、緑が少ないこと、人間の生活や産業活動に伴う人工熱の放出、大気汚染物質等が原因とされている。

### 保安林

水源の涵養、災害の防止、生活環境の保全などを図るための、森林法に基づいて指定された森林。

### 保全樹木・樹林

地域の良好な美観風致を維持するため、市が保全の必要があると指定した樹木・樹林。

### ま行

#### マルチベネフィット

SDGs において、複数の社会課題の同時解決を示す用語として用いられている。

### みどりの風促進区域

道路や河川を中心に、一定幅の沿線民有地を一体的に緑化し、みどりの太い軸をつくる取り組みを行っている区域。

### や行

#### 遊休農地

今後も耕作される見込みがない農地や、周辺地域の農地と比較して、利用の程度が著しく劣っている農地。

### ら行

#### ライフサイクルコスト

建設費だけではなく、日常の保守、修繕費用等建物を維持するための費用などを含めた総費用のこと。

### ランドマーク

都市等において目印や象徴となる対象物。景観法では、地域の景観上重要な構成要素となる建造物や樹木などが該当する。

### 緑陰

植物により創出された日陰。

## 緑地協定

都市緑地法に基づき、都市計画区域内の一団の土地について、所有者などの全員又は開発者の合意により、市長の認可を受けて締結される緑地の保全または緑化に関する協定。

わ行

## ワークショップ

住民、専門家、行政がみんなで平等に意見を出したり、作業したりしながら、あるテーマについて考え、合意形成に導く場。

まちづくり、公園等の身近な公共施設の整備において、地域住民の考えを計画に反映させながら、合意形成に導く有効な手段の一つ。

## わんど

河川敷にできた池状の入り江のこと。希少な魚をはじめ、種々の生物が共存する豊かな環境であることが認識され、その価値が評価されている。